

【2024 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等		
精神保健学 I	PSF22-014 OSF22-013	選択	2	2,3	前期		
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー				
間嶋 健	B312	ken.majima	水曜日 12:10~13:00				
授業の目的・概要	<p><目的>現代の精神保健分野の動向と課題、ライフサイクル・生活環境と精神保健の関係性を理解し、精神保健の基本的考え方を身につけることを目的とする。</p> <p><概要>事例を中心に精神保健福祉士の幅広い精神保健の対象と各領域における精神保健福祉士の役割を解説する。適宜統計資料や時事問題を取り入れて授業を行い、理解を深める。</p>						
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()						
学習上の助言	現代の精神保健福祉社について学ぶため、ニュース等に積極的に関心に向け、リアルタイムに社会で起きていることを意識しながら学ぶことが望ましい。						
教科書	最新 精神保健福祉士養成講座 2 現代の精神保健の課題と支援/編：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版						
参考書	なし						
外部教材	なし						
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針				
①	現代の精神保健分野の動向と課題について説明できる。		HSU(1)~(3)、HC(2)、(3)、(5)				
②	ライフサイクルの各時期における主な精神的問題について説明できる。		HSU(1)~(3)、HC(2)、(3)、(5)				
③	精神保健に関する課題への取り組みと精神保健福祉士の役割について説明できる。		HSU(1)~(3)、HC(2)、(3)、(5)				
④	家庭、学校、職場等における精神保健上の課題と対策について説明ができる。		HSU(1)~(3)、HC(2)、(3)、(5)				
授 業 計 画							
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)				
1	オリエンテーション：講義概要・進め方・評価方法等を理解する。	講義	「はじめに」を読む。		4		
2	<第1章 精神保健の概要> ライフスタイル及び生活習慣と精神保健の関係性を学習する。	講義・演習	教科書、配布資料による復習と次回講義範囲の教科書を読む。		4		
3	<第2章 現代の精神保健分野の動向と基本的考え方> 統計資料から精神保健の動向を学習する。	講義・演習			4		
4	精神保健活動の3つの対象と障害受容の心的態度を学習する。	講義・演習			4		
5	物質依存と行動嗜癖について学習する。	講義・演習			4		
6	<第3章 家族に関連する精神保健の課題と支援> 家族及び出産・育児をめぐる精神保健について学習する。	講義・演習			4		
7	介護及び社会的ひきこもりをめぐる精神保健について学習する。 ①	講義・演習			4		
8	介護及び社会的ひきこもりをめぐる精神保健について学習する。 ②	講義・演習			4		
9	グリーフケアについて学習する。	講義・演習			4		
10	精神保健支援を担う機関について学習する。	講義・演習			4		
11	<第4章 学校教育の課題とアプローチ> 学校教育と教員の精神保健的課題について学習する。	講義・演習			4		
12	スクールソーシャルワーカーを含む学校教育に関与する専門職と関係法規について学習する。	講義・演習			4		
13	<第5章 勤労者の課題とアプローチ> 現代日本の労働環境と産業精神保健について学習する。	講義・演習			4		
14	職場のメンタルヘルスのための相談と支援について学習する。	講義・演習			4		
15	まとめと振り返りを行う。	講義			講義全体の振り返りを行う。		4
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照						

【2024 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		50	0	30	0	20	100
総合力指標	知識・技術力	40	0	20	0	0	60
	思考・推論・創造する力	10	0	10	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	筆記試験で実施する。(50点満点) 授業で取り扱った内容から、知識の定着及び理解度について問う。 試験範囲については、講義内で説明を行う。				Microsoft Teams を使用し、 フィードバックを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	演習やグループワークを通して作成された成果物を評価する。				授業内でフィードバックを行う
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	授業への参加態度・意欲で評価を行う。				授業内でフィードバックを行う
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし。						
教員の実務経験	なし。						
実践的授業の内容	実践的事例の活用および、実践現場でのアセスメントのあり方などを例示していく。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉士国家試験受験資格取得の希望者は必ず履修すること。 ・演習形式の講義では PC を使うため、毎回 PC を持参すること。 ・生成 AI の使用については、課題に応じて随時教員より使用/不使用の指示をする。 ・大学が公表している感染症対策および教員が示す授業方法を遵守することとし、守れない場合には授業への参加を認めない場合がある。 ・講義への意欲がみられない場合や他の学生の迷惑となる行為が見受けられた場合は退室を指示する場合がある。 ・今後の感染症の状況など社会情勢によってシラバス変更の可能性はある。 						